

令和3年度南信州地域計画の取組実績（案）について

～豊かさあふれる南信州農業！ 農から始まる新しい交流文化～

資料 2

■ 達成指標

重点取組	達成指標	現状 (H28年)	R3年		目標 (R4年)
			計画	実績	
1	45歳未満の新規就農者数（単年度）	28人	28人	35人	28人
	Iターン就農者数（単年度）	5人	5人	8人	5人
2	柿の栽培面積	517ha	538ha	528ha	542ha
	ぶどう無核大粒品種の栽培面積	21.8ha	45ha	52ha	55(46)ha
3	きゅうり・アスパラガス施設面積	32ha	36.5ha	36.1ha	37ha
	白ねぎ等新品目栽培面積	23ha	35ha	38ha	36ha
	信州プレミアム牛肉認定頭数	694頭/年	837頭/年	753頭/年	765頭/年
4	伝統野菜認定数	11種類	15種類	15種類	15種類
	6次産業化総合化事業計画達成件数	1件	4件	4件	4件
5	都市農村交流人口（単年度）	193,755人	208,800人	38,882人	213,900人
	販売金額1億円以上の農産物直売所数	7か所	8か所	9か所	8か所
6	計画期間中に整備する重要な農業水利施設の整備箇所数	—	5か所	7か所	6か所
	多面的機能及び中山間直接支払取組面積	2,751ha	2,926ha	2,275ha	2,993ha

重点取組1：南信州農業の次代を担う人材の確保・育成

○ 県、市町村、JAと連携し相談活動や研修事業等の充実による担い手確保の強化

- ・ 県、市町村、JAと連携した相談会の実施（延べ25回）
- ・ スキルアップセミナーの開催（農業等基礎講座4回、柿2回、簿記等専門講座1回、参加者延べ62人）
- ・ 農業次世代人材投資事業による就農準備者（5人）や就農5年以内の者（44人）への支援



【土づくり講座】

○ 各種セミナー、研修会による新規就農者や中核的経営体の資質向上

- ・ 農業経営者総合サポート事業による伴走支援（対象10経営体に対し延べ16回）

○ 帰農塾等によるUIターンを含む定年帰農者への支援の充実

- ・ JAとの共催による帰農塾の開催（基礎講座5回、専門講座6コース 合計26回、受講者43人）

重点取組 2：新技術や新品種拡大による競争力の強い果樹産地づくり

- りんごの県オリジナル品種の戦略的拡大
 - ・モデルほ場（2か所）を活用した早生品種「つがる」「恋空®」「シナノレッド」「ぐんま名月」の収量比較調査並びに熟度調査の実施（5回）及び適期収穫講習会の開催（1回）
- 市田柿の生産拡大の推進
 - ・市田柿+きゅうり経営による優良事例の聞き取り調査の実施（3戸、2回）及び経営指標の作成
 - ・早採りによる「もどり」の発生防止のため、熟度調査に基づく適期収穫の徹底
 - ・市田柿ブランド推進協議会等と連携した食品衛生法一部改正の周知、加工技術研修会の開催（4回）
 - ・元気づくり支援金を活用した「市田柿」の振興支援（5回）
- りんご新しい化栽培やなしジョイント仕立て栽培など省力化と生産性向上の推進
 - ・りんご新しい化栽培ほ場の巡回指導の実施（2か所・2回）
 - ・なし樹体ジョイント仕立て栽培における着果管理指導（3回）、技術検討会（1回）及びジョイント実演研修会（1回）の開催
- シャインマスカットやナガノパープル等無核大粒品種の生産拡大によるぶどうの産地化
 - ・南信州シャインマスカット研究会員を対象にした、高品質生産を目的とする新梢管理や果房管理等を図る小集団活動の支援（4課題）、成木園の高品質生産を目的に栽培管理講習会の開催（3回）、SNSを活用したオープンチャット上での情報提供及び会員の相互交流促進、篤農家の作業動画を活用した初心者を対象とする動画マニュアルの作成
 - ・新品種「クイーンルージュ®」の生産拡大のため、品種検討会の開催（1回）及び栽培特性の把握



【摘房・摘粒講習会】

重点取組 3：マーケットインの複合産地の構築

- きゅうり・アスパラガスの施設化の推進
 - ・雨よけ栽培や養液土耕栽培による収量品質の向上及び省力化を図るため、講習会などの機会を通じて雨よけ施設等の導入の啓発（5回）
 - ・ハウス内の夏期高温対策として、細霧冷房の効果について環境モニタリングシステムのお試し導入により確認（1か所1回）
 - ・きゅうり新規栽培者の中から7名を重点対象者とし、目標収量達成のため毎月巡回による栽培指導の実施（目標収量達成5人）
- 白ねぎ等新品目の作付推進
 - ・ねぎの軟腐病に対する防除試験により発生初期からの防除効果の確認（1か所）
 - ・ウイルス耐病性に優れたズッキーニの選定に向けた品種試験により有望品種の絞込の実施（1か所）
- ダリア等 200 種類以上の多品目花き生産への支援
 - ・ダリアの生産性向上に向け、夏期の高温障害対策として細霧冷房効果の確認（1か所）
 - ・ナンテンの着果量確保に向けた簡易雨よけ栽培の効果の確認（2か所）



【きゅうりの生育状況現地評価】

- 県内一の茶産地の維持
 - ・茶葉の品質向上を図るため、摘採講習会（4月上旬、13会場50人）、夏季管理講習会（6月下旬54人）、春整枝講習会（3月中旬）の開催
- 需要に即したきのこ生産
 - ・キノコバエ発生状況の調査の実施（4～6月、9～12月、3月に毎週4か所）
 - ・異物混入の解消に向けた歩行性害虫の侵入経路の実態把握調査及び改善策の実施（1戸）
 - ・ロスピン率の低減に向けた落下菌調査、拭取り調査等の現地調査の実施（4戸）
- 信州プレミアム牛肉・銘柄豚など畜産物の生産拡大
 - ・認定農場の巡回による書類保管、整備及び衛生管理指導、農場 HACCP の意義啓発（44戸）、農場 HACCP 認証の取得（1戸）、認証取得に必要な書類や体制の整備の支援（1戸）
 - ・広報等による飼養衛生管理基準の周知（肉牛94戸、養豚14戸、養鶏14戸）、特に養豚農家を対象に訪問による基準順守の徹底（延べ230回）
- ICT 等新技術の導入検討
 - ・お試し導入実施による効果の検証（水田センサー3経営体、牛繁殖監視システム1経営体、きゅうりハウス環境モニタリングシステム2経営体、果実非破壊糖度計1回、腕上げ補助器5回）
 - ・スマート農業機器の実演・体験研修会の開催（7月、119人参加）
 - ・マルチローターを活用した水稻斑点米カメムシ類防除薬剤の省力的散布の効果検証（20筆、2.4ha）、共同防除組合設立に向けた支援（5回）

重点取組4：稼ぐ農業ビジネスに向けた高付加価値化の推進

- シードルなど新たな地域特産品の開発の推進と消費の拡大
 - ・シードル向けりんご生産を取り入れた農業経営モデルの作成及びシードル導入者の現状把握（4件）
 - ・シードルの既存銘柄の分析等消費拡大に向けた品質向上の取組支援（2回）
- 輸出を志向する取組や認証取得等高付加価値販売を目指す取組への支援
 - ・輸出果実（なし）の検疫対策及び施設査察受入の支援
 - ・市田柿輸出の取組支援（1団体、輸出量60t、輸出先国8か国：台湾、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、欧州、米国、ドバイ・補助事業実施支援）
- 伝統野菜をはじめとした地元食材の食べ方提案等による消費誘導
 - ・伝統野菜（ナス科、ウリ科）の採種技術の向上による安定的な種子の確保と固有形質の維持継承のための採種指導会の開催（1回）
 - ・喬木村「志げ子なす」が伝承地栽培認定
 - ・食のアカデミーの開催による調理プレゼンテーション展示・説明支援の実施（1回）
 - ・伝統野菜（なす3種）の特性を活かすための味覚分析等の実施（4回）
- 食品産業との連携への支援
 - ・6次産業化相談会の開催による取組支援の実施（5事業者）
 - ・南信州管内の6次産業化・農商工連携取組業者リストの整備（68事業者）



【伝統野菜を活かした「食のアカデミー」を南信州で開催】

重点取組5：食育の推進と交流を通じた地消地産の拡大

- 小学生や未就学児との農業体験会の開催など教育現場との協働による食育の強化
 - ・「つぶほまれ栽培・加工研究会」「まめっこ応援団」による大豆を活用した食育活動を支援
 - ・小中学生を対象とした「市田柿出前教室」で干し柿作りの実施（3校）
 - ・保育園児を対象にリーフレットをもとにしたお話し等食育活動の実施（48園）

- 直売所の品揃え強化・ネットワーク化等による消費誘導
 - ・直売所が抱える出荷者育成等の課題解決の支援として、アドバイザー派遣による個別相談の実施（1回）
- 市田柿など地域特産品のレシピ開発や料理講座等への支援
 - ・市田柿のPRのためのリーフレット配布、ポスター掲示、レプリカ展示及び個包装市田柿についてのアンケート調査の実施
 - ・一般消費者を対象とした地元の旬の野菜や伝統野菜を活用するためのワークショップ（4回）及びこれらを用いたガレット料理講習会の開催（4回＋オンライン講習1回）
 - ・調理師会、飯田女子短期大学等5団体の協力による地消地産の推進を目的とした「南信州地域食材レシピBook」の作成（1,000部、10食材・17レシピ）
- 交流人口増加を見据えた地元農畜産物のPRと「観光＋農業」の推進
 - ・農業体験や地消地産に取り組む宿泊事業者を対象としたグリーン・ツーリズムのネットワーク活動に対するニーズ調査の実施（1回）
 - ・「観光と食の連携による地域活性化プラン」を策定し、食材データベースの作成等プランに基づく活動の開始（17回）
 - ・南信州地産地消推進協議会の活動支援の実施（8回）



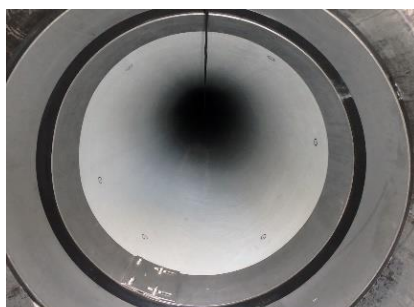
【南信州地域食材レシピBook】

重点取組6：農を基軸とした多様で豊かな地域づくり

- 農業体験型研修の充実による移住・定住者の支援
 - ・移住後間もない者等を対象とした農業に親しむ体験型研修「南信州農ある暮らし入門研修」の開催（集合研修3回、集合管理作業6～10月週1回、参加者15人）
- 企業法人等による荒廃農地の活用や農地中間管理事業等の活用による農用地活用の最適化の推進
 - ・引続き人・農地プランの実質化に取り組む5市町村に相談活動の実施
 - ・中心経営体に対して経営基盤確立や経営発展による「人・農地プラン」の実践支援（50経営体）
 - ・樹園地継承のための法人等について検討の開始（1地区）
- 農村の持つ多面的機能の維持や小水力発電など地域資源の活用促進
 - ・多面的機能支払交付金を活用し、農業生産基盤等の維持活動の支援（12市町村1,760ha）
 - ・中山間地域等直接支払事業交付金を活用し、中山間農用地の保全の支援（全市町村844ha）
- 農業用施設の長寿命化及び農村の防災対策の推進
 - ・計画期間中に整備する6か所のうち、令和3年度までに5か所で水路補修工事が完了、また、計画期間内に新たに補修が必要となった施設2箇所について対策工事を実施



【整備前】



【整備後】

【既設管を活かした内面補修】
竜東一貫水路の富田沢暗渠については、既設管を活かした内面補修工法による対策を実施